

# レーシック医院への質問シート

大切な眼の手術ですので、不安を解消してから手術したいのでお手数ですがお答えください。

## 1. 近視・遠視・乱視の度合いは？

近視：

遠視：

乱視：

この数値によって自分の目の悪さを確認し、角膜をどれくらい削ればいいのかの計算材料とすることができ、角膜切除の量は視力の度合い(D:ジオプター)の合計×14μmで計算します。

(例)軽度近視-2Dで乱視-1Dの場合： $3D(=-2D+-1D) \times 14\mu m = 42\mu m$  の角膜を切除することになります。

## 2. 角膜の厚さは？

μm

純粹な厚みを確認することで、角膜を削る量の計算材料とします。なお、日本人の角膜厚は平均520μmです。

## 3. 作成されるフラップの厚さは？

μm

通常のレーシックの場合は約160μm、イントラレーシックの場合は約110μmです。

## 4. 切除予定量はどれくらいか？

μm

1から推測される切除量(度合い×14μm)と大差がないかを確認します。大差がある場合には、医師に質問してください。

## 5. 残存角膜厚はどれくらいになるか？その数値に問題はないか？

μm

残った角膜の厚さが330μm以上の安心ラインに到達しているか、ギリギリでないか確認してください。

## 6. 再手術は可能ですか？

YES / NO

自分でも計算可能ですが、念のため医師にも確認してください。

7. エキシマレーザーの照射径であるOPTICAL ZONE(OZ)はいくつに設定する予定か?

mm

レーザーの照射径(OZ)と暗所瞳孔径の差がハロ・グレアに繋がります。一般的にはOZ = 6.5mmです。

8. 暗所瞳孔径はいくつか?ハロ・グレアが強く出る心配は無いか?

μm

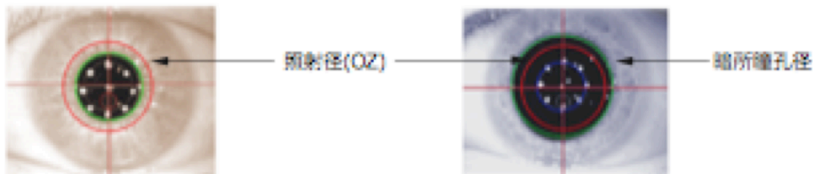
左下図の赤い円がレーザーの照射径(OZ)です。この赤い円に視力矯正のためのレーザーを照射します。

最新の機械では、一般的に6.5mmと設定されています。

例えば、右下図では、暗い所に行くと瞳孔が開く(=暗所瞳孔径)ことにより赤い円をオーバーしてしまっています。

これがレーザーを照射した部分と、そうでない部分とで光りが乱屈折することで起こる「ハロ・グレア」です。

照射径が6.5mmの場合、暗所瞳孔径が6.5mmを超えると、ハロ・グレアが起きる可能性が高くなります。



9. 予定視力回復率はいくつか?

上記の項目から、総合的に判断されるクリニックでの予定回復率です。

10. 医師に対する質問「もし貴方が自分だったら、手術しますか?」

【カウンセリング担当医】 YES / NO

【執刀医】 YES / NO

カウンセリング担当医と執刀医両方に質問してみましょう。角膜の厚さがギリギリの場合「しない」というケースもあります。

お手数おかけしました。ありがとうございました。質問事項は以上です。